

佐藤寿三郎の議員活動報告詳報

ことぶき月報 (No.258) 2020年3月号

終世書生気質：ブログ・千曲のかなた (日々の議員活動をお伝えしています)

◎令和元年東日本台風 (台風第19号) に関する 県内の被害対応状況の報道備忘録 (令和2年3月分)

- 3/4 ○台風で被災した取水施設「頭首工」8ヵ所で今春復旧間に合わず
信濃毎日
- 3/10 ○長野市長 復旧の足かせとせず NHK長野
- 3/23 ○長野市、台風19号災害の「復興だより」を創刊 日本経済新聞D
- 3/26 ○長野市、台風災害対策本部を廃止 県も廃止復興に移行
信濃毎日新聞、日本経済新聞D
○台風で決壊の堤防 鉄板で補強 NHK長野
- 3/28 ○台風被害 長野市復興計画案答申
NHK長野、日本経済新聞D 3/27、信濃毎日 3/28
- 3/31 ○堤防全体覆う工事に 千曲川 村山橋下流8キロ区間 信濃毎日、NHK長野

◎新型コロナウイルスに関する県内の対応状況の報道備忘録 (令和2年3月分)

- 3/2 ○新型コロナ陽性「もっと多い可能性も」 長野赤十字病院・増淵部長
日本経済新聞D
○経済への影響労働局相談受け付け NHK長野
○休校で休む保護者に休業賃金助成 NHK長野
- 3/4 ○北陸新幹線 2月の利用11%減 JR東日本 信濃毎日
- 3/5 ○景気判断 新型ウイルス影響懸念 NHK長野 日本経済新聞D
- 3/6 ○経済にも影響 県が緊急対策会議 NHK長野
○県内3人目の感染確認 牧場勤務、大阪でライブに 日本経済新聞D、
朝日新聞【有料】
- 3/7 ○県内観光業者、さらなる打撃 新型コロナで中韓からの入国者一時隔離措置
信濃毎日
- 3/9 ○甲信越の2月街角景気、約9年ぶり低水準 日本経済新聞D
○新型コロナによる急速な円高、長野県内企業に警戒感 日本経済新聞D
- 3/10 ○県内企業、円高株安ずしり 新型コロナ感染拡大の影響 信濃毎日
○臨時登校の留意点 県教委が通知 NHK長野
- 3/11 ○新型コロナでマイナス影響「出ている」36% 長野の中小 日本経済新聞D
- 3/12 ○感染拡大 知事と市長ら意見交換 NHK長野
○新型コロナ 県内バス会社窮地 震災を超える損失、転職勧める社も
NHK長野
- 3/13 ○県内景況感9年ぶり低水準に NHK長野、信濃毎日、日本経済新聞D
○感染拡大 飲食店経営に影響も NHK長野

- 新型コロナ 株価急落で街の人は NHK長野、信濃毎日
- 景況感 震災以来の低水準 新型コロナ 幅広い産業に影響 信濃毎日
- 3/14 ○長野で仏渡航の20代女性感染 NHK長野、信濃毎日
- 貸し切りバス 1～2月のキャンセル損失計1億4069万円 信濃毎日
- 3/17 ○新型コロナ相談1000件超 長野労働局 信濃毎日、日本経済新聞D
- 新型コロナ、子どもは症状軽い傾向 WHO 専門家が会見 朝日新聞【有料】
- 県内桜の名所、イベント自粛の動き 朝日新聞【有料】
- 3/18 ○県内経済界「支援を」切実 新型コロナでG7「あらゆる手段動員」
信濃毎日
- 3/19 ○新型コロナ「マイナスの影響」県内企業の66・8% 信濃毎日
- 3/24 ○長野県で新たに1人の感染を確認 NHK長野
- 低感染リスクのイベントは予防策を講じて開催 県が新たな判断基準
信濃毎日
- 3/25 ○4月19日の長野マラソン中止 新型コロナで 日本経済新聞D
- 3/26 ○新型 県内初の自己破産申請へ NHK長野 3/25 朝日新聞【有料】
- 「感染拡大地域との往来控えて」NHK長野、日本経済新聞D
- 県内企業 五輪延期嘆く 観光業「出口見えない」信濃毎日
- 新型コロナ 県内5人目 感染経路不明 信濃毎日、日本経済新聞D
- 3/28 ○飯田市・20代男性の濃厚接触者は10人 NHK長野 3/28、信濃毎日/29
- 3/29 ○20代男性の濃厚接触者は10人 NHK長野 3/28、信濃毎日/29
- 3/30 ○知事「平日も不要不急往来避けて」 NHK長野、朝日新聞【有料】
- 新型コロナ 県内2人感染確認 計8人に NHK長野、信濃毎日、
朝日新聞【有料】
- コメディヤンの志村けんさん死去 NHK、信濃毎日、朝日新聞【有料】
外全国各紙
- 3/31 ○知事「高齢者いる実家へ帰省控えて」NHK長野
- 県が「基本的対処方針」を公表 NHK長野、日本経済新聞
- 信越の雇用情勢判断、新型コロナ懸念で11カ月ぶりに引き下げ
日本経済新聞D

※茶色で示した記事は、須坂市、市内企業、須坂市民にも関係ありと判断します。

【須坂市議会令和2年3月定例会の顛末】

1. 【私の議会内議員活動】

2月18日招集され開会しました令和2年3月定例議会に上程されました議案は、事件決議2件、条例9件、補正予算8件、当初予算8件、同意書5件、諮問1件、議会第1号1件、須高事務組合議会議員の補欠選挙1件、意見書3件でした。

3月13日に本会議が開議され、上程された議案について委員長報告、質疑、討論ののち順次採決が行われ、何れも原案の通り可決・同意がされました。

上程された案の全てを議了し、議会は閉会しました。

(1) 今定例会に上程された議案の採決について

1) 事件決議 2件

○以下2件は簡易採決。何れも佐藤議員は賛成。本会議は原案可決
議案第2号 辺知に係る総合整備計画の変更について

上程理由：総合整備計画の変更のため。

議案第3号 市道の認定について

上程理由：法規に適った市道の認定をするため。

2) 条例 9件

○以下9件は簡易採決。何れも佐藤議員は賛成。本会議は原案可決

議案第4号 須坂市森林環境譲与税基金条例の制定について

上程理由：施策に要する経費に充てるため。

議案第5号 須坂市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例について

上程理由：法律の改正に伴う。

議案第6号 須坂市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について

上程理由：事務処理要綱の改正に伴う。

議案第7号 須坂市第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

上程理由：会計年度任用職員制度の導入に伴う。

議案第8号 須坂市第2号会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例について

上程理由：会計年度任用職員制度の導入に伴う。

議案第9号 須坂市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例について

上程理由：会計年度任用職員制度の導入に伴う。

議案第10号 須坂市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について

上程理由：会計年度任用職員制度の導入に伴う。

議案第11号 須坂市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について

上程理由：法律の改正に伴う

議案第12号 須坂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

上程理由：国民健康保険法施行令の改正に伴う。

3) 補正予算 8件

○以下8件は簡易採決 何れも佐藤議員は賛成。本会議は何れも原案可決。
賛成理由：予算決算特別委員会分科会審査並びに予算決算特別委員会
で詳細な説明を受け、更に質疑応答により疑問箇所が解消され得心したため。

議案第13号 2019年度須坂市一般会計補正予算第8号
補正額：5億6,768万9千円

議案第14号 2019年度須坂市国民健康保険特別会計補正予算第3号
補正額：△8,001万3千円

議案第15号 2019年度井上,幸高,九反田,中島財産区特別会計補正予算

第 2 号

補正額：13 万 4 千円

議案第 16 号 2019 年度須坂市介護保険特別会計補正予算第 4 号

補正額：△1 億 5,108 万 3 千円

議案第 17 号 2019 年度須坂市後期高齢者医療特別会計補正予算第 3 号

補正額：2,567 万 8 千円

議案第 18 号 2019 年度須坂市水道事業会計補正予算第 3 号

補正額：収益的收入 △1,552 万 6 千円

収益的支出 △ 499 万 2 千円

資本的收入 △ 662 万円

資本的支出 △1 億 5,723 万 2 千円

議案第 19 号 2019 年度須坂市下水道事業会計補正予算第 4 号

補正額 収益的收入 1,946 万円

収益的支出 △ 355 万 2 千円

資本的收入 4 億 4,372 万 2 千円

資本的支出 5 億 3,797 万 9 千円

議案第 20 号 2019 年度須坂市宅地造成事業会計補正予算第 1 号

収益的收入：△629 万 3 千円

収益的支出：△466 万 1 千円

4) 当初予算 8 件

議案第 21 号 2020 年度須坂市一般会計予算

当初予算額：275 億 5 千万円

○何れも起立採決

◇修正案に関して、佐藤議員は反対。(反対理由は下記のとおり)

議会採決は「修正案否決」

◇原案採決に関して、佐藤議員は賛成。議会採決は「原案とおり可決」

◎修正案の要旨は、1. 健全育成のためにも削減すべきでない 2. 区長会総会で昨年、今年と削減に反対の声が上がっていて、市民理解が得られていない。故に育成会活動交付金を当初予算額に 217 万 2 千円増額し、従前の交付金額に戻されたい。

【修正案反対理由】思うに、須坂市が育成会活動交付金について、県内 19 市においてトップクラスであるが、然しこの交付金の多寡を以て育成会活動を論ずるべきではない。我々議員は、育成会活動を市の活動と捉えるか、各々の自治会の活動と捉えるかで結論が異なります。

私は「子どもは須坂の宝」とする市の施策に軸足を置く意味から、須坂市一般会計当初予算案を俯瞰的に捉えなくてはならないと思っています。

以下、須坂市の当初予算案概要に掲げられた事業をみるに・・・

- ◇予算案のうち『子どもたちが未来に夢をもてるまちづくり』として、
- ★まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進
 - ☆自然体験学習の指導 46 万円
 - ☆子育て支援センターへの移動式エアコン設置 143 万円
 - ・心の教室相談員の配置 441 万円
 - ・ファミリー・サポート・センター事業 270 万円
 - ・病児等保育への対応 1,590 万円
 - ・すこやか相談事業 683 万円
 - ☆ 学校給食センターの建設 21 億 9,221 万円
 - ☆ 児童センター・児童クラブ指定管理者委託 1 億 3,700 万円
 - ☆ 小中学校のあり方検討会議の開催 21 万円
 - ◎ 小中学校 ICT 環境の充実 675 万円
 - ◎ 食物アレルギー対応食開始に伴うシステム改修 103 万円
 - ◎ 信州すざか農業小学校豊丘校の運営 112 万円
- ※註・★重点 ☆新規 ◎拡大

これらの事業を検証するに、市としての「子どもは須坂の宝」とする市の事業を主軸とし、町別の育成会活動については、各自治会内の児童への行事の予算建ては各町区の責任に任せるべきであって、仮にも市の交付金にパラサイドした町区の育成会活動のあり方は、如何なものかと常々思っている。各自治会が町内に住まう住民の合意の下に、特色のある育成会活動をなすべきであり、この趣旨を失うと町内における育成会活動は長続きが望めないものと懸念します。

育成会活動交付金の当初予算 516 万 6 千円は、前年度比 3 割減であるが、決して低い額とは思えない。須坂市の児童に普く施す市策については、市が主体と為すべきであるとするは前述のとおりである。市と町区の役割区分を混同してはならない。依って、修正案に対して私は反対とした。

○以下 3 件は簡易採決

◇佐藤議員は何れも賛成。議会採決は何れも「原案とおおり可決」。

賛成理由:委員会分科会審査並びに予算決算特別委員会で詳細な説明を受け、更に質疑応答により疑問箇所が解消され得心したため。

議案第 22 号 2020 年度須坂市国民健康保険特別会計予算
当初予算額 : 50 億 9,798 万 5 千円

議案第 23 号 2020 年度井上.幸高.九反田.中島財産区特別会計予算

当初予算額：789万2千円

議案第24号 2020年度須坂市介護保険特別会計予算

当初予算額：45億516万6千円

○起立採決

議案第25号 2020年度須坂市後期高齢者医療特別会計予算

当初予算額：7億434万5万円

- ◇ 本議案に関して、「市内の被保険者8,500人のうち、今回の保険料引き上げ(平均年額4,572円)、及び軽減特例の段階的見直しによって6,000人(約7割)が負担増となり認めることはできない。」とする反対討論が共産党の竹内議員からなされました。

佐藤議員は賛成。議会採決は「原案のとおり可決」

賛成理由： 後期高齢者医療制度は、高齢者が安心できる適切な医療の確保を目的として、旧老人保健制度を平成20年4月1日から後期高齢者医療制度として創設された経緯がある。

後期高齢者医療制度の変更点は、従来の老人保健制度の財源は、公費が50%、国民健康保険と社会保険からの支援金が50%で成り立っていましたが、後期高齢者医療制度法改正で後者(国保と社保からの支援金)の負担割合を40%に減らし、削減した10%を75歳以上高齢者の保険料で割り当てることになったこと。毎月納める保険料は、各都道府県の後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療制度の運営主体)によって異なるが、支払う上限額は年間で50万円と定められたことに端を発します。

小職が原案賛成止む無しとした理由の資料を下記にお示しします。

【日本の将来推計人口】

- 2015年 1億2700万人
- 2040年 1億1092万人
- 2053年 1億人を割り込む。
- 2065年 8808万人に減じるが、

「合計出生率」が2018年には1.42であるが、これを2.07になれば人口は維持できるとされている。出生率は短期間で激しく上下するものではないが、今後50年間の凡その人口の動向は、推計からあまり遠く外れないだろう。

2040年頃までの大変化を乗り切ることが出来れば、そ

の先の未来も乗り切れるだろうとする主張もある。

【人口構成の変化のなかで、社会保障に何が起きるか】
社会保障給付費の将来の見通し

内訳	2018年度 GDP 564.3兆円	2025年度 GDP 645.6兆円	2040年度 GDP 790.6兆円
総額	121.3兆円 (21.5%)	140.2~140.6兆円 (21.7~21.8%)	188.2~190兆円 (23.8~24%)
その他	14.6兆円 (2.6%)	17.7兆円 (2.7)	22.5兆円 (2.9%)
介護	10.7兆円 (1.9%)	15.3兆円 (2.4%)	25.8兆円 (3.3%)
医療	39.2兆円 (7%)	47.2~47.8兆円 (7.3~4.4%)	66.7~68.5兆円 (8.4~8.7%)
年金	56.7兆円 (10.1%)	59.9兆円 (9.3%)	73.2兆円 (9.3%)

- 社会保障の持続可能性を保持するための課題解消として
- ① 思い切った少子化対策の促進。
 - ② 医療福祉分野の人手の確保のためには、外国人の活用。
 - ③ 外国人が安心して働ける環境整備。
 - ④ 行政が音頭をとっての地域社会づくりと、高齢者の積極的社会進出。
 - ⑤ 「65歳から高齢者」の定義を変える必要性。
- 【参考文献：2020年日本の論点 日本経済新聞編から抜粋】

本議案について反対する議員の主張は、「安易に法改正を許せば、高齢者が安心できる適切な医療の確保が崩れる。低年金で暮らす高齢者にとって、今回の7.6%の負担増は、生活を圧迫するものである。国庫負担金を元に（現行27%余を50%に）戻すべきである。」との主張と推察します。

思うに、後期高齢者医療の保険料及び介護保険料が、年金から有無を言わず天引きされる実情からも、保険料の引上げには慎重でなければならないことに同感です。年金支給額は真水として、高齢者が安心して余生を送れる原資であるべきと思います。

2会派学習会（上程議案検討会）の席上で、更に予算特別委員会分科会審査並びに予算決算特別委員会でも同様の反対理由が示されました。反対理由は、小職も後期高齢者の人たちの負担を考えると、尤もの提唱であると理解しうるも、市議会ではどうすることもできない問題であり、論旨を参酌すると洵に歯痒さを感じます。

上記の資料の表の数値から判断しても、今後痛みを伴う税や社会保障料の負担は、現下の財政状況からして、ある程度は避けられないのではないかと判断し、本後期高齢者医療特別会計制度の特質を勘案すると止む無く賛成とせざるを得ません判断としました。

予算決算特別委員会や本会議で原案反対を唱える議員の反対趣旨も理解しますが、この提唱こそ、寧ろ国会の場で普く国民の為の、重複しますが、取分け高齢者が不安なく、安心して暮らしてゆける大局的

な見地に立った論議がされて然るべきで、国民不在の国会の論議こそ「国権の最高機関」を自ら放棄しているように映ることが、我々国民には不満です。

○以下 3 件は簡易採決

議案第 26 号 2020 年度須坂市水道事業会計予算

当初予算額：23 億 667 万 3 千円

◇本議案に関して、佐藤議員は賛成。議会採決は「原案のとおり可決」

議案第 27 号 2020 年度須坂市下水道事業会計予算

当初予算額：40 億 8,205 万 8 千円

◇本議案に関して、佐藤議員は賛成。議会採決は「原案のとおり可決」

議案第 28 号 2020 年度須坂市宅地造成事業会計予算

当初予算額：757 万円

◇上記は簡易採決。佐藤議員は賛成。議会採決は「原案のとおり可決」。

5) 同意案件 5 件

○無記名投票採決

同意第 1 号 副市長の選任について。佐藤議員は市長指名に賛成

無記名投票の結果、議会は賛成多数で市長指名の

須坂市野辺町

中澤 正直 氏を同意しました。

○以下 4 件は簡易採決 佐藤議員は何れも市長指名に賛成

同意第 2 号 代表監査委員の選任について。議会は市長指名の

須坂市馬場町

鱒川 晴夫 氏を同意しました。

同意第 3 号 公平委員会委員の選任について。議会は市長指名の

須坂市米子町

竹前 寛明 氏を同意しました。

同意第 4 号 固定資産評価員の選任について。議会は市長指名の

須坂市仁礼町

青木 正敏 氏を同意しました。

同意第 5 号 固定資産評価審査委員会委員の選任について。

議会は市長指名の

須坂市幸高町

内船 正敏 氏を同意しました。

6) 諮問 1 件

○簡易採決 佐藤議員は市長指名者に賛成
諮問第 1 号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
議会は市長諮問の
須坂市仁礼町
篠塚 みち子 氏を同意しました。

7) 議会条例 1 件

○簡易採決 佐藤議員は原案に賛成
議会第 1 号 須坂市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する
条例について、議会は原案を可決。

8) 会議員の補欠選挙 佐藤議員は議長指名に賛成

須高行政事務組合議会議員の補欠選挙について
議長の指名推薦に同意し、荒井一彦議員を選出。

9) 意見書 3 件

○以下 3 件は起立採決
意見書第 1 号 医師養成定員を減らす政府方針の見直し並びに地域医療を
担う医師の確保を求める意見書
◇本意見書の趣旨を斟酌し、佐藤議員は賛成。
議会採決は「原案のとおり可決」
意見書第 2 号 台風 19 号に係る復旧・復興に向けた対策を求める意見書
◇本意見書の趣旨を斟酌し、佐藤議員は賛成。
議会採決は「原案のとおり可決」
意見書第 3 号 令和元年台風第 19 号災害からの早期復旧を求める意見書
◇本意見書の趣旨を斟酌し、佐藤議員は賛成。
議会採決は「原案のとおり可決」

(2) 今議会の予算決算特別委員会での市長部局の答弁の手控え

1) 総務文教分科会

- A：法人税、固定資産税、都市計画税がそれぞれ滞納繰越分減額となっているのは、当初見込みより、徴収がはかばかしくないことから減額するものです。
- A：幼稚園就園奨励費補助金の減額の要因は、昨年 10 月からの幼児教育・保育の無償化により、幼稚園就園奨励費補助金制度自体が無くなったものによるものである。

2) 経済建設分科会

- A：道路改良事業で中鮎川橋の工事は完了し、その他市内 165 橋について順次工事を実施して行く。
- A：里山整備事業で、本年度は 900 本、来年度以降は毎年 3,000 本の植樹を

3年間実施する予定。

A：台風の被害に遭われた方が市営住宅入居に20件の希望者がおられたが、抽選会において入居されたのは16件でした。

3) 福祉環境分科会

A：臥竜山公会堂管理事業で、公衆電話は使用頻度が低いいため撤去に至ったが、電話使用したい人には事務所の電話をお貸しします。

(3) 予算決算特別委員会

開議日時 令和2年3月11日

開議場所 議会第4委員会室

協議事項 各予算決算特別委員会分科会の委員長報告に対する質疑、議案に対する意見、討議・討論を為した後、
◇須坂市一般会計補正予算第8号外補正予算7件の採決を諮るに、
○何れも原案のとおり可決すべきと決しました。
◇2020年度須坂市一般会計予算外7件の採決を諮るに、
○何れも原案のとおり可決すべきと決しました。

(4) インター周辺等開発特別委員会

開議日時 令和2年3月13日

開議場所 議会第4委員会室

協議事項 都市計画法に基づく地区計画の決定に向けた進捗状況と今後の予定について。

(5) 全員協議会

開議日時 令和2年3月11日

開議場所 議会第4委員会室

協議事項 第六次須坂市総合計画の策定状況についての説明外

開議日時 令和2年3月13日

開議場所 議会第4委員会室

協議事項 追加議案等について外3件

(6) 須坂市議会事務局

局長 加藤 剛 氏は、令和2年3月31日を以て定年退職される。

○事務局長の重責を恙なく務められたことへの評価は高い。
我が議員生活において、記憶に残る議会事務局長であられた。

(7) 市職員退職者 (令和2年3月31日付)

議会事務局長	加藤 剛
会計管理者	角田 智子
消防長	田村 忠男
生涯学習推進センター所長	坂田 和巳

監査委員事務局長	滝澤 裕治
消防署長	丸田 幸彦
須坂保育園長	竹内 由美子
北旭ヶ丘保育園長	前角 順子
相之島保育園長	勝山 悦子
南部地域公民館主幹	小平 満寿子
営業課主幹	小林 浩一
臥竜公園管理事務所主査	駒津 成子
健康づくり課 保健師	田村 優衣
高齢者福祉課地域包括支援センター	
社会福祉士	成田 ゆき
臥竜公園管理事務所	
獣医師	笹田 和樹

(敬称略)

○長年に亘り市民並びに市政にご尽力を賜りました。ご苦労様でした。

2. 長野広域連合長先決処分指定の件（報告書）【3月19日報告書受取】

○一般廃棄物最終処分場建設工事の契約更新専決処分（報告）

- 1) **変更契約** 請負代金（当初） 17億4,077万6,400円
（変更） 19億1,475万2,400円
（変更増額） 1億7,397万6,000円

2) 主な理由

- ① 貯留構造物工事
・切土範囲の掘削工事において巨石が点在する硬岩層が広範囲に確認されたことから、施工及び購入土の追加計上が必要となったため。
- ② 防災調整池工事
・地質調査により支持基盤が当初想定より深いことが判明。補強土壁の構造変更とこれにより不足する調整池の容量を確保するための施行方法の見直しに伴い施工費の追加計上が必要となったため。

3. 【私の議会外議員活動】

1) 催名 自習

期日 令和2年3月5日

場所 無所属クラブ会派室 10時～13時30分

内容 予算決算特別委員会・総務文教分科会関係の議案の争点・疑問点の再確認作業。

催名 宅調

期日 令和2年3月7日 9時～17時

場所 佐藤壽三郎事務所

内容 「北相之島団地を千曲川遊水地にするために、集団移住を促進されたい私案」建白書の作成。建白書は3月9日市長に書面を提出。総務文教委員会での調査研究項目の資料等を作成。

催名 2会派学習会

期日 令和2年3月10日 9時～13時30分
場所 議会第1委員会室
内容 2月29日に行った予算決算特別委員会・総務文教分科会外2分科会に臨むための争点・疑問点を見つけ出し、夫々の委員会に置いて、それらの解消のための質疑をした結果報告と争点・疑問点の共有に努めた。

催名 宅調
期日 令和2年3月14日 9時～21時
場所 佐藤壽三郎事務所
内容 3月議会の諸書類の整理とまとめ。会報258号の編集、配信HPの更新

催名 自習
期日 令和2年3月26日 9時～
場所 佐藤壽三郎事務所
内容 議員・議会関係者のセクハラ問題について。

2). 【 私の議会外議員活動 】 住民の皆さんの陳情受理と取次

- 境沢町内の赤線の崩落改修についての陳情。
- 境沢町内を流れる農業用水の枯渇と悪臭についての苦情
- 国道403号境沢町北交差点内の水道制水弁周辺のアスファルト剥離による道理破損箇所の補修を陳情。⇒ **速やかにアスファルト舗装と白線補修がなされた。**
- 湯っ蔵んどについて、施設利用者から苦情の申出。
 - ① 内風呂から野天風呂への扉が、相当前から故障していて閉まらず、寒風が内風呂に入って来て寒い。(不心得者が、夜間に野天風呂から簡単に閉館中の施設内に侵入が可能ではないか? 防犯上も容認できない。)
 - ② サウナ風呂が故障してして修繕が進まず利用できない。湯っ蔵んどに来る目的は、サウナがあるからだ。修繕を早くされたい。
 - ③ 内風呂の鏡を全面的に取り換えて頂いたが、早くも鏡の曇りが目立つ。脱衣室同様に、浴槽内の鏡もしっかり毎日磨いて欲しい苦情。
 - ④ 明らかに不潔な衣類をまとっていて悪臭がする利用者が、ロッカーに衣服を収納するため、ロッカーが臭い場合がある。ロッカーは誰が使ったかが不明であり不安である。日に三度は衛生的見地から消毒されたい。
 - ⑤ 洗面所にティシュペーパーが置かれていないので不便だ。(職員に確認すると、ティシュペーパー、トイレペーパーの盗難が最近横行していて、盗難防止のために不設置とのこと。) 対策含めてティシュペーパーの配置を速やかにされたい。

○3月16日。境沢町農家組合役員に同行し、須坂市道路河川課に出向。中堰地区の農業用水路整備に関する協議を滝澤課長外と行いました。

※ **何れも現況確認を行い、担当部課に改善処理の取次を致しました。**

4. 【 研究・須坂の防災と安心・安全 】

市議会議員佐藤壽三郎は、須坂市長に「北相之島団地を千曲川遊水地にするた

めに、集団移住を促進されたい」内容の建白書を市長に提出しました。

令和2年3月9日

須坂市長 三木正夫 様

須坂市議会議員 佐藤 壽三郎

北相之島団地を千曲川遊水地にするために、集団移住を促進されたい建白書

昨年10月12日に襲来した、「令和元年東日本台風」（台風第19号）により、北相之島町は、千曲川の越水と、10月12日23:45千曲川河川事務所（国交省）より、須坂市の下流にある立ヶ花で計画高水高が1時間ほどで超えるから相之島の機場運転停止の依頼があり。10月13日0:05須坂市内を流れる八木沢川が内水氾濫の危険状態になった。0:45千曲川河川事務所から機場停止の指示連絡あり。八木沢川樋門を閉鎖したことによる内水氾濫が生じた。更に1:42須坂市北相之島団地上流で千曲川からの越水があり。北相之島町は浸水にみまわれ、半壊以上の戸建て住宅133件（軒）が被害を受けました。

13日の1:27相之島の対岸の長野市の穂保の土手が決壊し氾濫が発生しましたこの度の「令和元年東日本台風」は東日本に甚大な被害をもたらしたものであり、県内では東信、北信地方の各所で被害が発生したことはご承知のとおりであります。

須坂市が大被害を被った宇原川土石流災害（昭和56年8月23日発生）以降、河川に堆積した土砂が今回の台風第19号の豪雨により、濁流となって千曲川に押し流されました。須坂に限らず、東信から北信までの千曲川に流れ込む支流も悉く増水し土砂が千曲川に流入し、更に中信からの犀川の水量も報道等によって示されているとおりで

千曲川の災害復興のために、○長野市の加藤市長、長期的に遊水池の導入などを検討 ○知事「国が千曲川の一元管理を」○国・県・千曲川流域市町村「緊急治水対策プロジェクト」検討開 ○信濃川水系の水害対策、治水・浸水被害軽減など3本柱 ○信濃川の河川整備計画 国交省 2020年度中に変更へ ○信濃川水系対策 1200億円 遊水地候補 ○千曲川治水の遊水地 一つは長野・篠ノ井塩崎が候補と国と県を挙げての国策事業が伺えます。

ところで、千曲川堤内の堆積した土砂の排出は、天文学的量であってとても今年の台風シーズンに向けて撤去されるものではなく、亦、千曲川の狭窄部である立ヶ花から古牧間は山あいを縫うように千曲川の将に名の通り、曲がりくねった流域での短期間で川幅を広げたり、川底を深堀することは不可能であると思料します。

豊洲地域の住民の生命・財産を守るためには、「令和元年東日本台風」の被害を論

拠にして、市長が英断を以て北相之島地籍に遊水地を設けること。これによって、小島町、相之島町、豊島町は浸水を免れることが可能と思料します。遊水地を設けるためには国費で北相之島町を買い上げて頂き、北相之島町の集団移住を実現すべきことを茲に言上いたします。

1. 北相之島町の総面積

1) 戸建て住宅地部分の面積

① 南北の距離 $\approx 365\text{m}$ ② 東西の距離 $\approx 210\text{m}$

① \times ② = $\approx 76,650\text{ m}^2$ (23,186 坪)・・・イ)

2) 集合住宅地部分の面積

① 南北の距離 ② 東西の距離 $\approx 190\text{m}$

Ⓐ 最短 143m

Ⓑ 最長 290m

① (Ⓐ + Ⓑ) \times ② $\div 2 = \approx 41,135\text{ m}^2$ (12,443 坪)・・・ロ)

3) 総面積【イ) + ロ)】 = $\approx 117,785\text{ m}^2$ (35,629 坪)

2. 海拔の表示

1) 北相之島の海拔と近隣の海拔

北相之島町（郵便局）	333.4m	相之島町交差点	333.9m
豊洲小学校	333.3m	豊島町（県道入口）	336.5m
新田町交差点	343.5m	長印市場	333.4m
長電旭ヶ丘駅	364.5m	北部体育館	364.6m

2) 千曲川沿線の海拔

立ヶ花橋付近	324m	古牧橋付近	320m
西大滝ダム付近	302m		

3. 北相之島団地の地価

全域、宅地の固定資産評価額に乗ずる倍率は1.1倍である。

4. 戸建て住宅地部分の面積 $\approx 76,650\text{ m}^2$ が移転可能な候補地

① 北部体育館南側の農地がこの面積を賄える広さである。

5. この提言を実現するための手法

- ① 須坂市は、国の「防災集団移住事業」を活用するための施策を北相之島住民と話し合いを為し合意を得る。
- ② 住民の合意を得たならば、速やかに国に集団移住事業認可の申立をする。
- ③ 1. 1) の土地を遊水地として、現住宅地を、3. の価格で国に買収してもらい、現住建物は現存価格で併せて国が買い取りをする。

- ④ 国は、北部体育館南側の農地を代替地として取得し宅地造成行う。
- ⑤ 宅造された土地を、国は30年若しくは50年の定期借地として、買収に応じた地主に貸し出し、定期借地期間満了時に居住者に土地の払い下げをする。
- ⑥ 戸建て居住者は、国の土地と建物の買い上げによって取得する金員で建物の建築費を賄う。
- ⑦ これが実現できれば、北相之島住民はこの須坂に住み続けることが叶い、千曲川の越水や機場の閉鎖等による内水氾濫の被害から恒久的に解放され平穏な生活を営むことが出来る。子どもたちも、小学校は旭ヶ丘小学校若しくは豊洲小学校とし、中学校は相森中学校で学ぶことが出来る。

【資料追補】令和2年4月15日

台風の前に住んでいた場所に「戻りたい・住み続けたい」希望者が圧倒的

○去年の台風19号で千曲川の堤防が決壊して被害を受けた長野市の住民を対象にNHKが調査結果の報道である。(NHK長野、4月13日記事を抜粋)

① 台風の前に住んでいた場所に「戻りたい・住み続けたい」との回答75%

☆その理由について(複数回答)

A「自分や家族が所有する土地だから」85%

B「長年住んできた場所に愛着があるから」43%

C「地域の人たちとのつながりがあるから」34%

② 台風よりも前に住んでいた場所に、「戻りたくない・住み続けたくない」との回答8%

☆その理由

A「戻るの難しい・住み続けるの難しい」が5%

I. 「また水害が起きるかもしれないから」が90%

II. 「経済的に自宅を再建することが難しいから」が32%

5. 【保育園・小・中学校・教育委員会関係】

市内の全ての保育園・小・中学校は変則的卒業(卒園)式に変更されました。

6. 【古今東西の名言集】

「型破り」と「形無し」は、ともに褒め言葉のように聞こえるが、全く異質なものであり、混同してはならない。佐藤壽三郎

7. 【史記から拾う金言】 出典：史記列伝三 岩波文庫

田横は高い節義をもった人であり、食客は彼の節義を慕い、後を追って死んだ。素晴らしい人間ではないか。

○田儋列伝第三十四

8. 【2020年3月議会に提出された資料一覧】

整理番号	文書名	提出機関	配布日付
20200301	消防本部庁舎の改築案	消防本部	R2. 2/20
20200302	新学校給食センター工事工程表外 3/3	学校給食C	2/20

20200303	墨坂中学校通学路拡張事業	学校教育課	2/20
20200304	常袖・墨中PC賃貸事業	学校教育課	2/20
20200305	校内通信ネットワーク整備事業	学校教育課	2/20
20200306	市内7小学校防災機能強化工事	学校教育課	2/20
20200307	須坂市豊洲地域防災拠点施設整備事業	総務課	2/20
20200308	子育て支援センター環境整備事業外 3/3	子ども課	2/20
20200309	北相之島区公会堂災害復旧についての要望書	総務課	3/6
20200310	新学校給食C施設購入費について	学校給食C	3/6
20200311	第14回人権を考える市民のつどい報告書	人権同和	3/9
20200312	つながる食育推進事業	県教育委員会	3/9
20200313	須坂市学校施設長寿命化計画PCコメント2/2	学校教育課	3/9
20200314	新型コロナウイルス対応 5/5	学校教育課	3/9
20200315	国民健康保険条例の一部改正について	税務課	3/9
20200316	2020年度 市組織改正等概要	総務課	3/9
20200317	市消防団員等公務災害補償条例の一部改正	消防本部	3/6
20200318	事前提出資料・特定財源・道水路工事箇所 4/4	議会事務局	2/10
20200319	第六次須坂市総合計画の策定状況について 6/6	政策推進課	3/11
20200320	非常勤消防団員に係る損害賠償の基準等	消防本部	3/13
20200321	須坂市の財務書類 平成30年度決算	財政課	3/11
20200322	森林管理制度森林譲与税につい	県林務部	R1. 12/18
20200323	須坂市台風第19号災害復旧・復興計画書	総務課	R2. 2/12
20200324	旧第2通学区の高校の将来像を考える	学校教育課	2/12
20200325	まるごと博物館	生涯スポ課	2/7
20200326	子育て支援センター移設・改築についての検討	子ども課	2/7
20200327	健康長寿都市「須坂JAPAN」事業内容等	健康づくり	2/21
20200328	指定通学路防犯カメラ購入の算出根拠と箇所	学校教育課	2/21
20200329	後期高齢者健康増進事業の内容&算出根拠	高齢者福祉	2/21
20200330	須坂温泉指定避難所整備負担金の内容	商業観光課	2/21
20200331	保健センターエレベーター改修工事概要	健康づくり	2/21
20200332	市福祉会館整備事業の概要	福祉課	2/21
20200333	柔道場・剣道場耐震補強等工事	生涯学習SP	2/21
20200334	市立博物館大規模改修等工事の概要 2/2	生涯学習SP	2/21
20200335	坂田霊園擁壁修繕工事	生活環境課	2/21
20200336	インター周辺等開発に絡む道路整備図	生涯学習SP	2/21
20200337	妊婦を対象とした歯科健康診査実施陳情書 3/3	県保健医協会	2/10
20200338	医師養成定員を減らす政府方針の見直し陳情書	県医療労組	2/13
20200339	後期高齢者医療制度の保険料の改正 3/3	健康づくり	3/3
20200340	上下水道工事箇所位置図	水道局	3/4
20200341	大規模盛土造成地マップ 4/4	まちづくり	3/4
20200342	プレミアム付商品券事業実績について	商業観光課	3/5
20200343	令和元年東日本台風による被害状況	農林課	3/5
20200344	農業委員改選・農地利用適正化推進委員推薦	農業委員会	3/5
20200345	しらふじの活用事業者公募事業	まちづくり	3/5
20200346	民法改正に伴う市営住宅等の取扱い	まちづくり	3/4
20200347	河東改良区へ貸付けの屋根修理工事	農林課	2/20
20200348	新規就農者用農地集積事業	農林課	2/20
20200349	そのさとホール照明LED化工事	農林課	2/20
20200350	林道乳山線復旧工事図面	道路河川課	2/20
20200351	令和2年人事異動の基本方針	須坂市総務課	3/19

9. 【 読本備忘録 】

○地域に軸足を置き、そこに住む人びとのより良き生活の実現を目指地方紙は、当然批判的にならざるを得ない。「地方紙の眼力」：農文協

○2020年から2040年に多数の公共建物も建替えが到来することとなる。我が国の置かれている立ち位置としては、人口減少、少子高齢化、経済状況の変化、社会保障費の増大、特に自治体において財政状況は厳しく、公共建物の老朽化の対策に要する財源確保状況が非常に困難であるという危機的な状況が拡大している。

各自治体の対策の大きな柱は「延床面積の総量圧縮」、「長寿命化」、「財源確保」「広域連携」と掲げている。「公共建物の長寿命化」：株式会社クレヴィス

■□■□■□■□ 発行日 令和2年（2020年）3月31日

令和2年3月14日初版

令和2年3月17日報道備忘録追補

令和2年3月21日報道備忘録追補

令和2年3月25日報道備忘録追補

令和2年3月29日報道備忘録追補

令和2年3月31日報道備忘録追補

令和2年4月15日報道備忘録追補

編集：発行人 須坂市議会議員 佐藤 壽三郎

<http://www.zyusaburo.com/> ホームページ

<http://zyusaburo.blog.fc2.com/> ブログ・千曲のかなた